

【専門基礎分野】

科目名	病理学Ⅲ (脳神経、感覚器、運動器)	講師名	岡山医療センター医師	学 年	1	履 修 期	第2学期
単 位	1単位						
時間数	30時間 (内10時間)						
授業概要	病因と病変の特徴及び系統別疾患の病態・治療・検査について学ぶ。						
授業科目目標	1. 運動器系の疾病による形態や機能代謝の異常の基礎的知識及び検査、治療について理解できる。						
授業計画	<p>&lt;骨・筋系の疾患&gt;</p> <p>1回：症状とその病態生理 疼痛・形態の異常・関節運動の異常・神経の障害・異常歩行または跛行</p> <p>2回：診断・検査と治療・処置</p> <p>3～4回：疾患の理解 外傷性運動器疾患（骨折・脱臼・捻挫および打撲・神経損傷） 先天性疾患 骨・関節の炎症性疾患 骨腫瘍・軟部腫瘍 代謝性骨疾患 筋および腱の疾患（進行性筋ジストロフィーなど） 神経の疾患（脳性麻痺、末梢性ニューロパシー、進行性神経障害など） 脊椎の疾患（ヘルニア、骨粗鬆症など） 上肢および上肢帯の疾患・下肢および下肢帯の疾患</p> <p>5回：まとめ 1H 終了試験 1H</p>						
評価方法	筆記試験						
テキスト	<p>1. 系統看護学講座 専門分野 成人看護学 [10] 運動器, 医学書院.</p> <p>2. 系統看護学講座 別巻 臨床外科看護各論, 医学書院.</p>						
学生へのメッセージ	<p>患者に合った看護実践をしていくためには、疾患の原因、症状、治療など病態生理を理解しておくことが重要です。解剖生理学の知識を基盤にして講義に臨んでください。</p> <p>【関連科目】解剖生理学Ⅲ、病理学総論</p>						

【専門基礎分野】

科目名	病理学Ⅲ (脳神経、感覚器、運動器)	講師名	岡山医療センター医師A(4) 岡山医療センター医師B(6)	学	1	履	第2学期
単 位	1単位			年		修	
時間数	30時間(内10時間)			期		期	
授業概要	病因と病変の特徴及び系統別疾患の病態・治療・検査について学ぶ。						
授業科目目標	1. 脳神経系の疾病による形態や機能代謝の異常の基礎的知識及び検査、治療について理解できる。						
授業計画	<p>&lt;脳神経系の疾患&gt;</p> <p>1回：症状とその病態生理 意識障害・高次脳機能障害・運動機能障害・感覚機能障害・反射性運動の障害 頭蓋内圧亢進と脳嵌入・髄膜刺激症状・頭痛</p> <p>2回：診断・検査 治療・処置（内科的、外科的）</p> <p>3～4回：疾患の理解 脳疾患（くも膜下出血、脳内出血、脳梗塞、TIA、脳腫瘍、頭部外傷、脱髄疾患） 脊髄疾患（脊髄炎、脊髄小脳変性症など） 末梢神経疾患 神経・筋疾患（重症筋無力症、進行性筋ジストロフィー、筋萎縮性側索硬化症など） 脳・神経系の感染症（脳炎、髄膜炎、破傷風、クロイツフェルト-ヤコブ病など） 中毒 てんかん 認知症</p> <p>5回：まとめ 1H 終了試験 1H</p>						
評価方法	筆記試験						
テキスト	1. 系統看護学講座 専門分野 成人看護学 [7] 脳・神経, 医学書院. 2. 系統看護学講座 別巻 臨床外科看護各論, 医学書院.						
学生へのメッセージ	患者に合った看護実践をしていくためには、疾患の原因、症状、治療など病態生理を理解しておくことが重要です。解剖生理学の知識を基盤にして講義に臨んでください。 【関連科目】解剖生理学Ⅲ、病理学総論						

【専門基礎分野】

科目名	病理学Ⅲ (脳神経、感覚器、運動器)	講師名	岡山医療センター医師 A (4)	学年	1	履修期	第2学期
単 位	1 単位		岡山医療センター医師 B (2)				
時間数	30 時間 (内 10 時間)		岡山医療センター医師 C (4)				
授業概要	病因と病変の特徴及び系統別疾患の病態・治療・検査について学ぶ。						
授業科目目標	1. 感覚器系の疾病による形態や機能代謝の異常の基礎的知識及び検査、治療について理解できる。						
授業計画	<p>&lt;感覚器系の疾患&gt;</p> <p>1～2回：眼科系疾患</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 症状とその病態生理</li> <li>2) 検査と治療</li> <li>3) 疾患の理解</li> </ol> <p style="padding-left: 40px;">機能障害・部位別の疾患・外傷・全身疾患との関連</p> <p>3回：皮膚科疾患</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 症状とその病態生理</li> <li>2) 検査と治療・処置</li> <li>3) 疾患の理解</li> </ol> <p style="padding-left: 40px;">表在性皮膚疾患・真皮・皮下脂肪組織および付属器の疾患・脈管系の皮膚疾患 腫瘍および色素異常症・微生物・動物が関与する疾患 内臓疾患に伴う皮膚病変</p> <p>4回：耳鼻咽喉科疾患</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 病態生理と主な症状</li> <li style="padding-left: 20px;">難聴・鼻閉・咽頭痛・言語障害</li> <li>2) 診断・検査</li> <li>3) 治療・処置</li> <li>4) 主な疾患</li> <li style="padding-left: 20px;">中耳炎・メニエール病・副鼻腔炎</li> </ol> <p>5回：まとめ 1H 終了試験 1H</p>						
評価方法	1. 筆記試験						
テキスト	<p>1. 系統看護学講座 専門分野 成人看護学 [12] 皮膚, 医学書院.</p> <p>2. 系統看護学講座 専門分野 成人看護学 [13] 眼, 医学書院.</p> <p>3. 系統看護学講座 専門分野 成人看護学 [14] 耳鼻咽喉, 医学書院.</p>						
学生へのメッセージ	<p>患者にあった看護実践をしていくためには、疾患の原因、症状、治療など病態生理を理解しておくことが重要です。解剖生理学の知識を基盤にして講義に臨んでください。</p> <p>【関連科目】解剖生理学Ⅲ、病理学総論</p>						